Excel との接続方法

(BarTender 2019-2021 共通 Starter 版以上)

※ご利用いただく BarTender のバージョンにより本マニュアルの画面と差異があることがございます

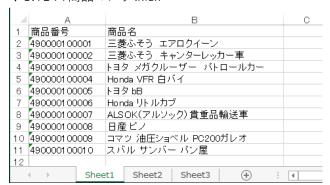
Excel データベースよりデータを参照し、ラベルを発行する簡単な例をご紹介いたします。

以下は、コンピュータの C ドライブの BT フォルダに左のようなエクセルファイル、「商品マスタ.xlsx」があった場合の例とします。

列「商品名」をテキストに、「商品番号」を JAN-13 バーコードに関連付けて、右のようなラベルを作成します。

(商品番号の末尾は JAN-13 バーコードのチェックデジットで、BarTender により自動的に付加されます。)

▼C:¥BT¥商品マスタ.xlsx



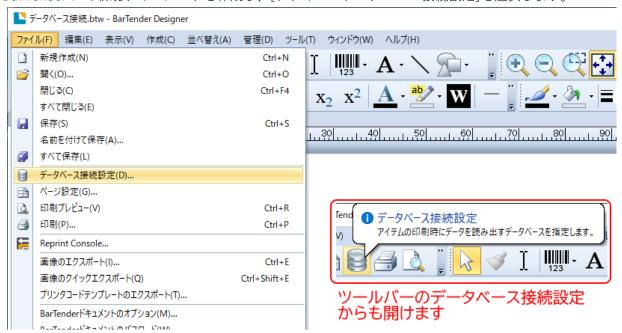


(Excel で接続先のファイルを開いていたら、閉じてください。BarTender と Excel で同じ Excel ファイルを時 に開くとエラーになります)

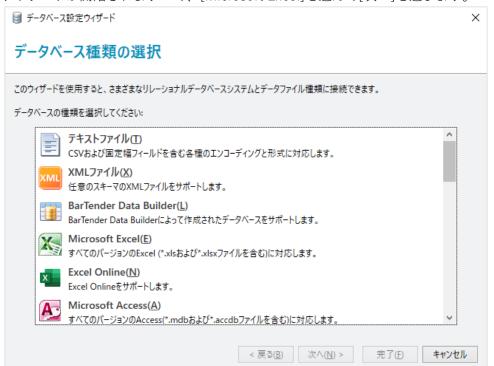


設定方法

1. BarTender にて新規ドキュメントを作成し、[ファイル>データベース接続設定]を選択します。

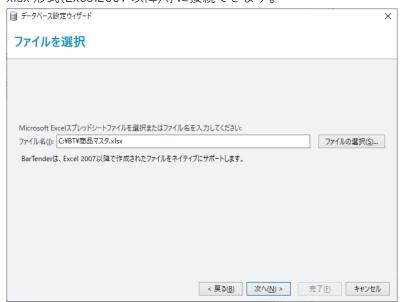


2. ウィザードが開始されますので、[Microsoft Excel]を選んで[次へ]を選びます。





3. [参照ボタン]を押し、商品マスタの場所を指定し[次へ]。 xlsx 形式(Excel2007 以降)等に接続できます。



※ファイル名は、[C:\betaBT\beta商品マスタ.xlsx] のような絶対パスのほか、 ネットワークパス (例:\beta\beta\beta] ESERVER\betaDATA\beta\beta\beta\beta\column\colum

相対パスの例

[C:\bar{bolder} [C:\bar{bolder} [C:\bar{bolder} BT\bar{bolder} and bloom [C:\bar{bolder} and bloom

相対パスを利用するには、事前にドキュメント(btw ファイル)を保存しておく必要があります。ファイルが見つからない場合[次へ]ボタンは押せません。



4. データ検出方法を指定します



5. 利用したいデータの入っているシート[Sheet1\$]をドロップダウンリストから選択します。 最初の行を列名でなくデータとして利用したい場合は[最初の行にフィールド名がある]のチェックを外します。

[範囲の指定]では指定したセル範囲に接続することができます。

ファイルのプレビュー をクリックするとシートの内容を確認できます。



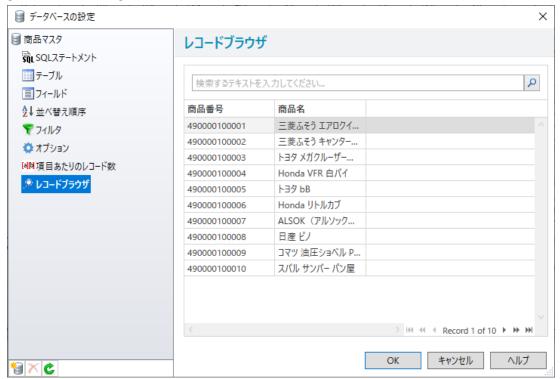


6. 選択されたシートが表示されます。

通常はそのまま[完了]をクリックします。

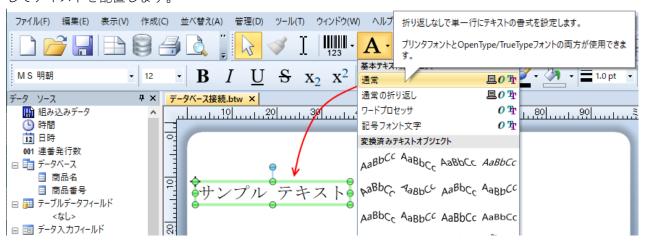


7. 以上で、Excel ファイル「商品マスタ.xlsx」へのデータベース接続が作成されました。 [レコードブラウザ]タブにてデータを確認できます。



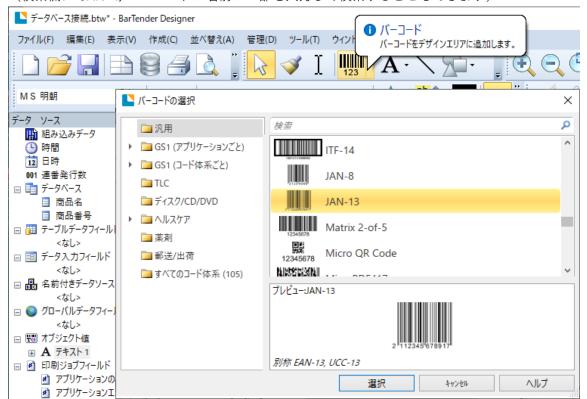


8. 次に「商品名」となるテキスト、「商品番号」を参照するバーコードを任意の位置に配置します。 ツールバーの[テキスト]ボタンをクリックし、ドロップダウンから[通常]を選んで、ラベル上をクリック してテキストを配置します。



9. ツールバーのバーコードボタンをクリックし、バーコードの追加より、左側の[汎用]を選び、右側の[JAN-13]をクリックし、下の[選択]ボタンをクリックします。

(検索欄に JAN 等バーコードの名前の一部を入力して検索することもできます)



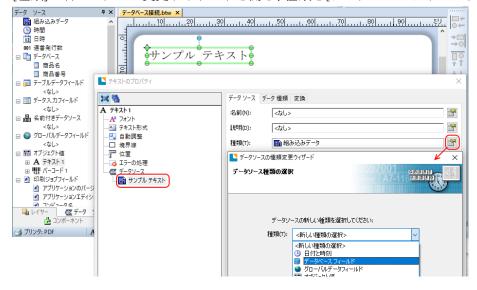


10.その後ラベル上をクリックして、バーコードを配置します。



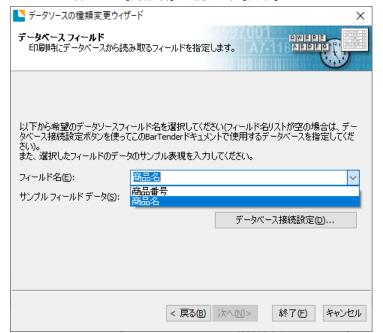
11.まずテキストオブジェクトと「商品名」を関連付けます。

テキストオブジェクトをダブルクリックしてプロパティを開き、左ツリーからデータソースを選択します。 [種類]の右のボタンで変更ウィザードを開き、種類を[データベースフィールド]に変更し、次へ進みます。



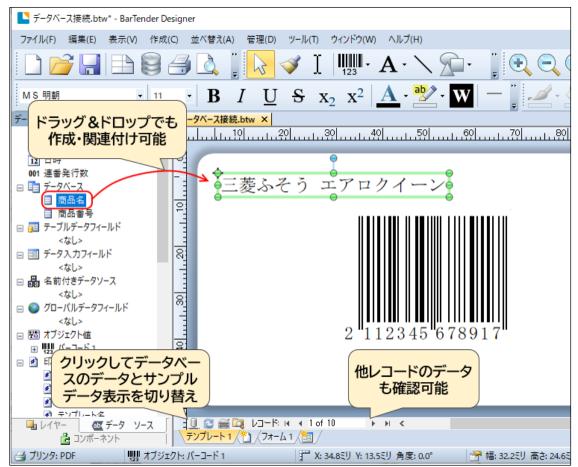


12.フィールド名として[商品名]を選択し、[終了]をクリックします。





13.デザイン画面上で、接続したデータベースの最初のレコードのデータが確認できます。下のナビゲーションバーより、他のレコードのデータも表示できます。



なお、左側の[データソース]ツールボックスより、データベースフィールドをドラッグして ラベル上に配置するとフィールドにリンクした 通常テキスト が作成でき、

バーコードやテキストに重ねると、データベースフィールドをリンクさせることができます。



14.次にバーコードをダブルクリックし、同様にデータソースの種類を [データベース フィールド] とし、フィールド名に[商品番号]を選択します。



15.以上でデータベースとの接続設定は完了です。

[ファイル>印刷>プレビュー]にて、実際に印刷されるデータが確認できます。



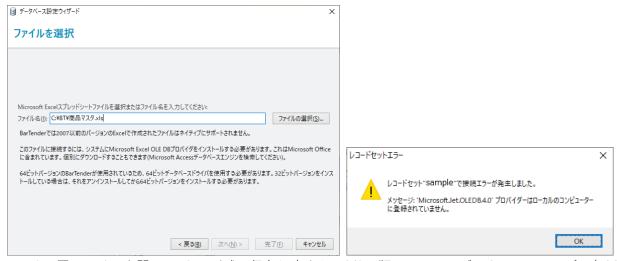


よくある質問

Excel 2003 形式(*.xls)のファイルに接続できません

BarTender 2019 は Excel 2003 形式(.xls)や Accss2003 形式(.mdb)に接続できる 64 ビット版のドライバを持っていません。

このため、64 ビット版 OS では以下のような表示になり xls 形式のファイルに接続できません。



Excel で同ファイルを開いて.xlsx 形式で保存し直すか、64bit 版の Access データベースエンジン(x64) を インストールしてください。

64bit 版の Access データベースエンジン AccessDatabaseEngine_X64.exe は下記 Microsoft サイトより ダウンロードできます。

Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能コンポーネント

https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=13255

接続先 Excel ファイルを変更したい

ファイル>データベース接続設定 で、接続の設定 >参照 より、接続先 Excel ファイルを変更することができます。

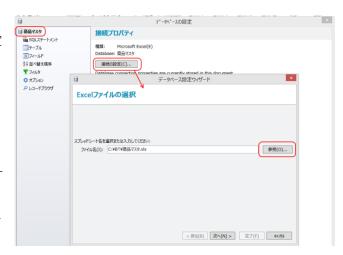
シート名や列名が変わると、

「新 DB 内のデータベースの形式が

旧式のデータベースの形式と一致しません。

新 DB への新しいデータベース接続を作成しますか?」

と表示されますので、[はい]をクリックして設定を 更新します。







データベース接続設定を削除するには

データベースの接続設定を削除するには、ファイル>データベースの設定 より、左側のデータファイルを クリックし、下の赤い[X]ボタンをクリックして接続を削除します。



- エラー#3204 テンプレートで使用されているフィールドがありません
- エラー#3600 The Print Job has been aborted because the template does not reference…



印刷時、プレビュー時などに以上のようなエラーが表示されて印刷できないことがあります。これは、ラベル上のオブジェクト(テキスト、バーコードなど)に、データベースのフィールドが正しく設定されていないときに表示されます。

ラベル上のオブジェクト(テキスト、バーコードなど)のデータソースを開き、フィールドを選択し直してみてください。



レコードブラウザで一部の列が表示されない

レコードブラウザ では列名を右クリックして表示されるメニューで、すべての列を表示 を選ぶとすべての列が表示されます。

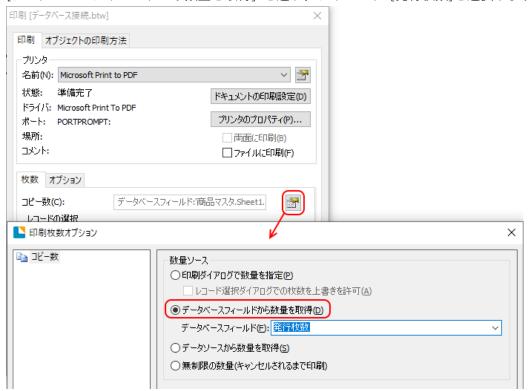


レコード(行)ごとの印刷枚数をデータベースの列から取得するには

例えば Excel の列 [発行枚数] で指定した枚数分を発行するには、

ファイル>印刷 より印刷ダイアログを開き、コピー数のプロパティから

[データベースフィールドから数量を取得]を選び、フィールド [発行枚数]を選択します。



以上

